

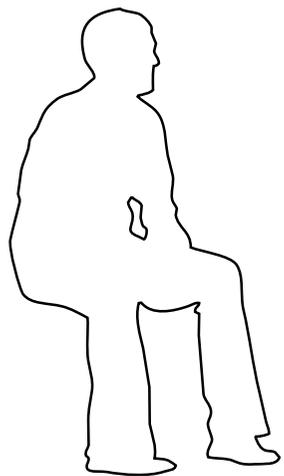
むりえわ

小田原のどか

西田幾多郎 「或教授の辞職の辞」 より

回顧すれば、

私の生涯は極めて簡単なものであった。



その前半は黒板を前にして坐した、

その後半は黒板を後にして立った。



黒板に向って一回転をなしたといえ、
それで私の伝記は尽きるのである。



底本 西田幾多郎 「続思索と体験『続思索と体験』以後」
初出 「思想 第八十三号」 一九二九(昭和四)年四月
青空文庫